

「いのち」について考える旅 国立ハンセン病資料館と丸木美術館

日時：2019年4月10日(水) 9:30 ~ 17:15

<旅行代金> ◆10,000円

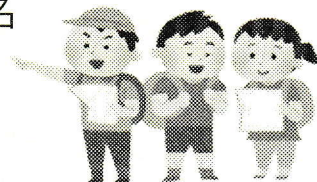
※当日添乗員へお支払いください。

<締切日> 3月27日(水)

<最少催行> 8名 <定員> 25名

<添乗員> 1名同行します。

★当日緊急連絡先:080-1327-1992



当日スケジュール

9:30 西武池袋線清瀬駅集合

↓ 路線バスで移動(約10分)

10:00~12:00 国立ハンセン病資料館

* 語り部講話映像(約55分)・資料館見学(約45分)

↓

12:00頃 国立ハンセン病資料館発

↓

途中・昼食休憩

↓

14:00頃 丸木美術館

(丸木位里・俊氏の「原爆の図」など作品を鑑賞)

↓

16:00頃 丸木美術館発

↓

17:15頃 池袋駅着後、解散

※交通事情で到着時間が遅れる場合がございます。

同行講師

春日 恒男さん(文化資源学会)

長野県・長野市生まれ。

芝浦工業大学付属

中学高等学校に35年勤務の後、現在、芝浦工業大学
地域連携・生涯学習センター公開講座講師。

文化資源学研究者。靖国神社平和ガイド。

ポイント

◇なぜ、日本では長年にわたりハンセン病患者に対して不当な「隔離政策」が行われてきたのか。隔離政策とそれに対する患者の戦い歴史を振り返り、その原因と<いのち>の尊厳について考えます。

◇「原爆の図」をはじめとする丸木夫妻の作品を鑑賞し、<いのち>を根底から脅かす<巨大な暴力>に対峙する「絵画」の可能性について考えます。

プレ学習会

【日時】3月19日(火) 18:00~20:00

【講師】春日 恒男さん

【参加費】1000円

【場所】㈱富士国際旅行社 会議室

【内容】

「国立ハンセン病資料館と丸木美術館」

について、プレ企画として学習会を行います。フィールドワークでより

学習を深めるために一緒に学びませんか？

学習会のみ、フィールドワークのみ参加もOK！

